



# 北海道教育大学 (北海道)



地域に根ざした教育大学ということから、大学と地域の小・中・高等学校との交流が深く、その交流の一環として、年に数回、大学周辺の小中学校を訪問する機会がある。研修生が日本の学校教育について知る大変よい機会となっているとともに、日本語で人々と交流する経験を積むことができる。

## ◇大学紹介

### (1) 特色

北海道教育大学は、教育学部1学部が5つのキャンパス(札幌、函館、旭川、釧路、岩見沢)に分かれています。2006年度から課程が再編され、札幌キャンパス・旭川キャンパス・釧路キャンパスに設置された教員養成課程では、3つのキャンパスを特色化しながら北海道全域にわたって教育現場に密着した教員養成を行います。函館キャンパスに設置された人間地域科学課程では、人間と地域の現代的・学際的探求によって、地域社会に積極的に貢献することができる人材の育成を目指しています。岩見沢キャンパスに設置された芸術課程・スポーツ教育課程では、より文化的な社会生活を企画・設計・指導できる人材の育成を目指しています。また、大学院修士課程には、学校教育専攻、教科教育専攻、養護教育専攻、学校臨床心理専攻が設置されています。

### (2) 学生数(平成19年5月1日現在)

学部学生 5,450名  
(札幌1,219名, 函館1,308名, 旭川1,224名,  
釧路909名, 岩見沢790名)  
大学院生 367名  
特別支援教育特別専攻科 14名  
養護教諭特別別科 26名  
研究生・科目等履修生・特別聴講学生 147名

### (3) 国際交流の実績(平成19年5月1日現在)

留学生在籍数 16カ国 83名  
国際交流協定教育機関 12カ国 26大学

## ◇コースの概要

- 受入定員 約15名
- コース期間 2008年10月～2009年8月  
(函館校に配属される場合は、2008年10月～2009年9月)
- 授業科目の概要 各校別コース概要参照
- 指導体制 各校別コース概要参照
- コースの修了要件, 修了証書の発行 決められた日本語教育科目, 日本事情・日本文化関連科目の受講, 及び修了小論文の執筆を修了要件とし, コースを修了した者には, 修了証を授与する。
- 受講希望者の資格, 条件等 日本語の初級レベルの学習を終了したもの。
- 単位認定, 単位互換等 履修科目において所定の成績をおさめた場合は単位を認定し, 成績証明書を発行する。

## ◇宿舎

留学生の希望に応じて、学生寮、民間アパート等を斡旋します。学生寮は、以下のとおりです。  
※下記以外に光熱水料金及び食費等がかかります。

キャンパス	男女	収容人員(人)	居室面積(m <sup>2</sup> )	居室定員(人)	寄宿料(月額)(円)	所在地
札幌	男	80	9.0	1	4,300	札幌市北区あいの里5条3丁目1番2号 札幌市中央区南2条西13丁目
	女	80	9.6	1	4,300	
函館	男	120	9.6	1	4,300	函館市八幡町19番8号 函館市杉並町23番20号
	女	60	9.6	1	4,300	
旭川	男	90	9.6	1	4,300	旭川市北門町9丁目 旭川市春光4条2丁目1番2号
	女	72	13.0	2	700	
釧路	男	128	28.0	4	700	釧路市鶴ヶ岱1丁目11番15号
	女	48	28.0	4	700	
岩見沢	男	60	9.6	1	4,300	岩見沢市緑が丘2丁目34番地1
	女	60	9.6	1	4,300	

## ◇問い合わせ先

大学所在地: 〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

担当部署: 学務部国際交流・協力室

連絡先: TEL: 011-778-0266 / 0323 / 0673 / 0674

FAX: 011-778-0675

E-MAIL: [ryugaku@sap.hokkyodai.ac.jp](mailto:ryugaku@sap.hokkyodai.ac.jp), [kokusaik@sap.hokkyodai.ac.jp](mailto:kokusaik@sap.hokkyodai.ac.jp)

ホームページアドレス: <http://www.hokkyodai.ac.jp/>

## ◇各校別コース概要

### 1. 札幌校(札幌市北区あいの里5条3丁目1-5)

#### ○授業科目の概要

##### I)「日本語・日本事情」

場面に応じて必要な日本語が使える、社会文化的なトピックについての簡単なディスカッションができるようにコミュニケーション・スキルを習得するとともに、大学での研究に役立つ総合的な日本語能力の習得を目指す。また、日本事情・文化について知るとともに、ディスカッションや自国文化の紹介を通じて、異なる文化を相互に理解する心を育てる。

##### II)「アカデミック日本語」

聴解能力の向上、論文作成能力の向上など、大学での学習・研究活動に必要な技能を修得する。

##### III) 日本研究

一般学生用の授業の中から日本語、日本の歴史、日本の文化、日本の社会、アイヌ文化などに関する科目を選択して受講する。  
また、書道など、留学生向けに開かれる科目もある。

##### IV) 修了小論文

各自が興味を持つテーマについて、日本人へのインタビュー、アンケート調査、実地調査などを行い、修了小論文を作成する。修了小論文は『留学生研究発表集』としてまとめられる。

#### ○指導体制

責任教員: 笹谷春美(社会学) 国際交流・協力センター 札幌校センター長

協力教員: 札幌校開設科目担当教員

国際交流・協力センター教員 大賀京子(日本語教育)

阿部二郎(日本語教育)

#### ○行事

- ・一週間のホームステイ
- ・学生・国際交流サークルとの交流
- ・ホームステイ協会との交流
- ・地域の小・中学校との交流
- ・札幌近郊での研修

### 2. 函館校(函館市八幡町1番2号)

#### ○授業科目の概要(全て2単位30時間)

##### I) 日本語科目(全て2単位30時間)

「初級日本語1」: 初歩的日本語コミュニケーション能力の育成(前期)

「初級日本語2」: 基礎漢字100字の習熟と短文作成の練習(前期)

「日本語1」: マルチメディアを使ったプレゼンテーション(前期)

「日本語2」: レベル別に聴解能力の向上(前期)

「日本語3」: 語彙の増強と日本語作文(前期)

「日本語4」: 語彙の増強と日本語会話(前期)

「総合日本語1」: 初級レベルにおける総合4技能の向上(後期)

「総合日本語2」: 課題研究中心, 日本人学生も参加(後期)

「総合日本語3」: 動詞の使い方(後期)

「総合日本語4」: 日本語で話す(後期)

「総合日本語5」: 個人課題の指導(後期)

「総合日本語6」: 総合4技能の向上(後期)

##### II) 日本事情・日本文化関連科目

「日本理解」: 日本人学生・市民から日本の歴史文化を学び、施設見学を通して理解を深める。

「日本文化実習」: 茶道、華道、琴について学び、師匠から基礎を学ぶ。

「書道入門」: 書道文化について知り、作品を制作する。

##### III) 課題研究

各自が興味を持つテーマについて、文献調査、日本人へのインタビュー、アンケート調査、実地調査などを行い、研究報告を提出する。

#### ○指導体制

責任教員: 福田 薫(英語科教育・英語学) 国際交流・協力センター 函館校センター長

協力教員: 開設科目担当教員および非常勤講師

#### ○実地見学, 行事など

- ・新生オリエンテーション宿泊研修参加(5月)
- ・留学生歓迎会(5月)
- ・地域の小・中学校などへの学校訪問, 国際交流活動
- ・地域の祭り(いか踊り)への参加(8月)
- ・函館野外劇観劇(8月)
- ・国際交流イベントへの参加(9月知内町, 平取町)
- ・地域国際交流イベント(花見, 野外バーベキュー, 地球祭, 歩くスキー, 交流団体の親睦会など)

### 3. 釧路校(釧路市城山1丁目)

#### ○授業科目の概要

##### I) 日本語教育科目

###### 「日本語」

- ・社会生活に必要な日本語が使える、社会文化的なトピックについての簡単なディスカッションができるようにコミュニケーション・スキルを習得する。

##### II) 日本事情・日本文化関連科目

###### 「環境を読む」

- ・統計資料や視聴覚教材を利用しながら、日本の文化・社会・環境について、種々のトピックに焦点を当てて学習する。

###### 「地域を読む」

- ・北海道の歴史や文化を、実地見学などを通じて深く理解する。

###### 「地域・学校文化体験入門」

- ・地域の小・中・高等学校、特殊学校などを訪問し、日本人の生徒たちとの交流を通じて、日本の教育制度について理解を深める。

###### 「基礎講読」

- ・日本の文化について知るとともに自国の文化を日本語で紹介することを通じて、異なる文化を相互に理解する心を育てる。

###### 「書道」

- ・日本の書道文化について理解を深めるとともに、実際にさまざまな作品を制作する。

##### III) 課題研究

- ・各自が興味を持つテーマについて、日本人へのインタビュー、アンケート調査、実地調査などを行い、課題研究を作成する。

#### ○指導体制

責任教員: 倉賀野志郎(教育学)国際交流・協力センター 釧路校センター長

指導教員: 研究内容に応じて指導教員が配置され、指導教員の研究室で主に学習する。

協力教員: 開設科目担当教員

### 4. 岩見沢校(岩見沢市緑が丘2丁目34番地)

#### ○授業科目の概要

##### I) 日本語科目

###### 「日本語(応用)」

- ・大学生活と日常生活において、場面と目的に応じた表現でコミュニケーションができるようになることを目標に、口頭表現法と文章表現法を学習する。また、必要に応じて文法や発音などの学習を行い、既習項目のブラッシュアップを目指す。

##### II) 岩見沢校開講の一般科目(一般学生用)

指導教員と講義担当教員の相談のうえ、岩見沢校で開講している全ての講義から選択して受講できる。ただし、日本語の習熟度次第では受講できない科目もある。

##### III) 札幌校開設科目(一般学生用)

研究目的に応じて札幌校の授業を受けることもできる。

#### ○指導体制

研究内容に応じて指導教員が配置され、その研究室で主に学習する。